

## 日本史

〔 I 〕 次の文を読んで、設問に答えよ。

周囲を海に囲まれた日本列島では、古くから海を越えた交易活動が行われてきた。そもそも日本列島に人類が現れたのも、周辺地域からの渡来によるものである。最終氷期に海面が現在よりも 100 m ほど低下し、大陸とほぼ地続きになったことが、人類が日本列島へ渡来する契機となった。狩猟の道具として石器が用いられるようになると、 や  が生み出され、旧石器時代の終わりごろには、中国東北部からシベリアにかけて発達した  が広まった。その後の縄文時代<sup>a</sup>には、日本列島内の遠距離交易が行われていたことがうかがえる。

九州北部に水田による米作りが伝わり、さらに多くの文化や技術が中国や朝鮮半島からもたらされ、弥生時代が始まる。やがて各地にクニと呼ばれる政治的まとまりが生まれるようになり、大陸と交流を始めるクニもあらわれた。こうした小国が中国に使いを送ったのは、先進的な文物を手に入れ、倭国内での立場を高める狙いがあったと考えられている。

大陸との交流は古墳時代にも続き、諸技術が伝わった。大和地方を中心とする政治連合であるヤマト政権の大王は対外交流を重視し、大陸・半島の先進文化・技術を手中にして政権の立場を強めようとしたのであろう。さらに 4 世紀後半になると、朝鮮半島の北から南下を進めるようになった  に対し、ヤマト政権は  や  と共に争った。7 世紀後半には、ヤマト政権は滅ぼされた  の復興のため軍を派遣している。

6 世紀末に隋が中国を統一すると、ヤマト政権は中国へ遣隋使を派遣したが、中国皇帝に臣属しない新たな外交姿勢を示したことで、皇帝から無礼とされた。7 世紀初めに唐が成立すると、遣唐使が派遣されるようになり、中国から多くの書物と知識を伝え、日本の律令国家としての発展に寄与した。9 世紀末の国際関係を背景に遣唐使は中止されることとなったが、筑紫に設けられた鴻臚館では多くの遺物が出土し、往時の交易を今に伝える物証となっている。こうした大陸と

の交易が盛んにおこなわれる一方で、9 世紀後半から 10 世紀になると、国風化<sup>h</sup>の傾向が著しい文化<sup>i</sup>が生まれていったことも見逃せない。

問 1 文中の空欄 A, B, C に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。

- ① A ナイフ形石器 B 尖頭器 C 細石器
- ② A ナイフ形石器 B 細石器 C 石匙
- ③ A 細石器 B ナイフ形石器 C 尖頭器
- ④ A 細石器 B 尖頭器 C ナイフ形石器

問 2 下線部③の時代の人々について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から 1 つ選べ。

- ① 八丈島や伊豆大島にも遺跡があり、そこまで進出する能力を持っていたと考えられる。
- ② 各地で丸木船が発見され、外洋航海を行っていたことを物語る。
- ③ 人々が使う石器の原材料となる黒曜石は、遠隔地での採取か、交易によって列島各地に運ばれたと考えられている。
- ④ 縄文時代後期まで、ナウマンゾウなどの大型動物がおもな狩猟の対象となった。

問 3 下線部⑥について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選べ。

- ① 岩宿遺跡や三内丸山遺跡で、初期の水田が発見されている。
- ② 弥生時代には北海道と南西諸島には水稲耕作は広まらなかったとされる。
- ③ 稲作は、中国の黄河中流域に起源があるとされる。
- ④ 水稲耕作が東北地方まで伝わるのは古墳時代になってからである。

問 4 下線部㉔について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 4

- ① 鉄器が出現し、その後銅と錫の合金である青銅器が出現した。
- ② 弥生土器には朝鮮半島の技術が見られず、縄文土器の伝統が色濃い。
- ③ 関東地方の甕棺墓には30枚以上の中国鏡を副葬した例がある。
- ④ 石包丁など朝鮮半島と共通する大陸系の磨製石器が伝わった。

問 5 下線部㉕について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 5

- ① 『後漢書』東夷伝によると、倭の奴国の王は前漢の光武帝から印綬を受けたという。
- ② 『三国志』魏志「倭人伝」によれば、邪馬台国の卑弥呼は後漢の皇帝に使いを送ったという。
- ③ 『漢書』地理志によれば、倭人は楽浪郡に定期的に朝貢していたという。
- ④ 『宋書』倭国伝には倭の五王の記事があり、倭王は代々北朝の宋の皇帝に朝貢したという。

問 6 下線部㉖について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 6

- ① 古墳から出土する武器や装身具には大陸産のものが見られる。
- ② 朝鮮半島から須恵器の製作技術が伝えられ、それまで用いられた土師器は急速に衰えた。
- ③ 5世紀には乗馬の風習が伝わっていたことが、副葬品や埴輪などからうかがえる。
- ④ 漢字の使用が始まり、漢字の音を借りて人名、地名を表し始めた。

問 7 文中の空欄D、E、Fに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 7

- ① D 高句麗 E 百済 F 加耶
- ② D 高句麗 E 加耶 F 百済
- ③ D 百済 E 高句麗 F 加耶
- ④ D 百済 E 加耶 F 高句麗

問 8 下線部㉗の時代の日本と朝鮮半島の動向について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 8

- ① 齊明天皇が派遣した軍は、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗した。
- ② 対馬、壱岐、筑紫に防人と烽がおかれ、対馬から大和にかけて古代山城が築かれた。
- ③ 朝鮮半島南部の勢力が北部からの圧力を受けて弱まると、半島におけるヤマト政権の影響力は増した。
- ④ 唐は新羅と結んで高句麗を滅ぼした。

問 9 下線部㉘について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 9

- ① 当初は北路を取ったが、新羅との関係が悪化した8世紀以降は南路を取って渡海するようになった。
- ② 8世紀には20年に一度の割合で派遣され、多い時は500人もの人々が、4隻の船に乗って渡海した。
- ③ 遣隋使に同行した高向玄理は唐建国後に帰国し、大化の改新時には政治顧問である国博士に任じられた。
- ④ 日本は唐からの冊封を受けていたため、正月朝賀に参列し、皇帝を祝賀した。

問10 下線部㉙について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 10

- ① 唐の商人が頻繁に来航し、朝廷は貿易の仕組みを整備して書籍、陶磁器などの工芸品を輸入した。
- ② 新羅との間では、日本が従属国となる外交関係が8世紀まで結ばれていたが、日本が対等外交を主張するようになり緊張が生じた。
- ③ 宋が中国を統一するようになると、中国中心の外交関係に参加するため、日本は速やかに正式な国交を開くこととなった。
- ④ 日本人の宋への渡航は律によって禁止されたが、奄然や成尋らのように宋の文物を日本にもたらす僧もいた。

問11 下線部①について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 11

- ① 屋内の調度品には蒔絵の手法が多く用いられたが、これは東北地方でとれる夜光貝などを素材とし、漆器に埋め込んで製作された。
- ② 神は仏が仮に形を変えてこの世に現れたものとする本地垂迹説が生まれ、仏教と日本固有の神々を結び付けた。
- ③ 貴族の住宅として白木造、瓦葺で開放的な寝殿造が広がり、大和絵が屏風などに描かれた。
- ④ 藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂は、寄木造よりも効率的とされる一木造の阿弥陀如来像を本尊とする。

〔Ⅱ〕 次の史料A～Eを読んで、設問に答えよ。(史料は、書き改めたり、省略したりしたところもある。)

A (天平十五年五月)乙丑、詔して曰く、「聞くならく、墾田は養老七年の格に依りて、限満つるの後、例に依りて取授す。是れに由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。今より以後、任に私財となし、三世一身を論ずることなく、咸悉くに永年取る莫れ。其の親王の一品及び一位には五百町、……六位已下八位已上には五十町、初位已下庶人に至るまでは十町。但し郡司には、大領・少領に三十町、主政・主帳に十町。……」と。

(『統日本紀』)

問1 史料Aについて述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 1

- ① 「養老七年の格」による政策の成功をふまえ、その着実な継続を命じた。
- ② この法令の具体化のため、百万町歩開墾計画が立てられた。
- ③ 墾田は「私財」であるから、租を永久に納めなくてもよいとされた。
- ④ 墾田面積は、位階に応じて五百町から十町まで差が設けられた。

問2 史料Aに関連して、奈良時代の政治について述べた以下の文X・Yの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 2

X 流行した疫病のため藤原不比等の4人の息子たちが相次いで亡くなり、その後、橘諸兄が太政官を主導し、唐への留学経験のある吉備真備と僧玄昉が登用された。

Y 称徳天皇が亡くなると道鏡は左遷され、天智天皇の孫の光仁天皇が即位して、官司や官人を減らして財政を緊縮し、国司・郡司の監督を強化して地方政治の引き締めをはかった。

- ① X 正 Y 正    ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正    ④ X 誤 Y 誤

B コノ後三条位ノ御時、……延久ノ記録所トテ、ハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道ノ所領ノ宣旨・官符モナクテ、公田ヲカスムル事、一天四海ノ巨害ナリトキコシメシツメテアリケルハ、スナハチ宇治殿ノ時、一ノ所ノ御領御領トノミ云テ、庄園、諸国ニミチテ、受領ノツトメ、タヘガタシナド云ヲ、キコシメシモチタリケルニコソ。(『愚管抄』)

問3 史料Bから読み取れることについて述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 3

- ① 後三条天皇の時代以前には、庄園整理令が出された例はなかった。
- ② 庄園の増加により公領が圧迫されていることが、大きな問題と考えられた。
- ③ この整理令によって、受領の任務遂行がきわめて困難となった。
- ④ 藤原道長の時代に、摂関家に寄進される庄園が大きく増加した。



問 8 史料Dに関連して、検地について述べた以下の文X・Yの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 8

X 戦国大名は、領国内の土地を、現地に役人を派遣して実測する指出によって調査し、東国ではそれを石高で、西国では貫高で把握した。

Y 太閤検地では、土地測量の基準を統一し、全国の村の田畑・屋敷地ごとに面積と等級を定め、それにもとづいて決定した石高によって年貢を決めた。

- ① X 正 Y 正    ② X 正 Y 誤  
③ X 誤 Y 正    ④ X 誤 Y 誤

E 一、身上能き百姓は田地を買取り、弥宜く成り、身体成らざる者は田畠を沽却せしめ、猶々身上成るべからざるの間、向後田畠売買停止たるべき事。 (『御触書寛保集成』)

問 9 史料Eや関連する江戸時代の法令について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 9

- ① Eの法令は、寛永の飢饉によって全国的に農村が被害を受けたことをきっかけに出された。  
② Eの法令によって田畑の売買は禁じられていたが、質流れという形での実質的な土地所有権の移動がみられた。  
③ 17世紀の後半には、零細経営の農民を増やして税収を確保するため、分地制限令が出された。  
④ 徳川吉宗は質流地禁止令を出して農民の階層分化を防ごうとしたが、騒動が起り翌年には撤回した。

問10 史料Eに関連して、江戸幕府の農政について述べた文として、明らかな誤りを含むものを、次の①～④から1つ選べ。 10

- ① 享保の改革では、定免法の採用による年貢増徴、積極的な新田開発などが行われた。  
② 寛政の改革では、代官を大幅に入れかえるとともに、各地に社倉・義倉を建設させた。  
③ 19世紀のはじめには、関東の農村の荒廃がすすみ治安が悪化したため、関東取締出役がおかれた。  
④ 天保の改革では、農村の過剰人口を吸収するため、農民が江戸の人別に入ることを促す人返しの法が出された。

問11 史料Eに関連して、江戸時代の農業や農村について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 11

- ① 大蔵永常の『広益国産考』以降の農学の発展を集大成して、宮崎安貞が『農業全書』を著した。  
② 大原幽学は下総国香取郡を中心に、道徳と農業技術の両面で指導し、農村の復興につくした。  
③ 最大の消費地である江戸向けの商品の生産が活発となり、畿内の各地に江戸地廻り経済圏が形成された。  
④ 水野忠邦が幕政改革を主導しているさなか、幕領で郡内騒動・加茂一揆という大規模な百姓一揆が起こった。

〔Ⅲ〕 次の文を読んで、設問に答えよ。

19世紀半ば、国民国家の形成をすすめる欧米諸国は、東アジアにも進出してきた。国交や貿易を厳しく制限していた日本をはじめとする東アジア諸国に対して、欧米諸国は自由貿易を強制し、あるいは植民地支配を試みることもあった。こうした外圧のもとで、幕藩体制は崩壊し、日本もまた国民国家の形成をすすめることになった。

国民国家の特徴のひとつに、その成員が国民としての意識(ナショナルイズム)を

もつことがあげられる。ここでは、この国民としての意識の形成という観点から、明治期の教育とメディアについてみていこう。

政府は、1871(明治4)年に文部省を新設し、1872年には、教育を国民の義務とする学制を公布した。とくに小学校教育の普及に力がそそがれ、国民教育を目指して全国で小学校がつくられた。その後、しばしば制度が変わったが、文部大臣 A が1886年に公布した学校令で、ようやく学校制度は安定した。しかし、この頃から、教育政策は国家主義的な傾向を強め、1890年には忠君愛国を教育の目的として強調する教育勅語が出され、国民教育の大原則として位置づけられた。このように、教育制度のなかで、国民としての意識が形成される仕組みが整っていったのである。

明治期には、新聞や雑誌などの印刷メディアが、印刷技術の進展という要因もあって、広く普及した。人々は、学校の外では、こうしたメディアを通じて、日本という国家のまとまりをつよく意識する機会をもつようになっていった。とくに、1887年には、民友社の徳富蘇峰が雑誌『国民之友』を刊行し、国民形成のための B を説いた。1888年には、政教社の三宅雪嶺や志賀重昂らが雑誌『日本人』を発行し、国民の伝統・美質の擁護を説く C をとなえた。また陸羯南は、1889年に新聞『日本』を創刊して、日本の自主独立と国民固有の思想の回復を説く D を提唱した。

こうしたなかで、1894年に日清戦争がはじまった。各新聞は、日本から遠い戦地の戦局を報じ、国民から熱狂的な支持をえて部数を伸ばした。また、講和条約調印後の三国干渉に対して、日本政府が三国による勧告を受諾したことをうけ、新聞や雑誌をとおして、人々のあいだに「臥薪嘗胆」という言葉が流行した。これによって、ロシアへの対抗心が育っていき、のちの日露戦争につながることになった。このように、新聞や雑誌などのメディアもまた、国民としての意識の成立を支えることになった。

問 1 文中の空欄Aに入る人名として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 1

- ① 森有礼 ② 中村正直 ③ 西園寺公望 ④ 榎本武揚

問 2 文中の空欄B～Dに入る語句として、最も適切なものを、次の①～⑥からそれぞれ1つ選べ。 B: 2 C: 3 D: 4

- ① 国民主義 ② 民本主義 ③ 平民主義  
④ 民権主義 ⑤ 民生主義 ⑥ 国粹主義

問 3 下線部③に関連して、イギリスの東アジア進出について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 5

- ① イギリスのアヘン戦争の勝利の報を受け、幕府は異国船打払令を出した。  
② イギリスはアヘン戦争の勝利によって、香港を獲得した。  
③ イギリスはアヘン戦争の勝利によって、江華条約を結んだ。  
④ イギリスはアヘン戦争の勝利によって、マカオなど5港を開港させた。

問 4 下線部⑥について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 6

- ① 学制公布後、小学校の就学率は急上昇し、1875年には50%を超えることとなった。  
② フランスの制度を模範として、小学校の開設費用は国費でまかなうことになっていた。  
③ 学問を個人の立身・発達のためのものと位置づける啓蒙主義的な教育観に基づいていた。  
④ アメリカの教育制度を模範として、地方の自主性が大きく認められていた。

問 5 下線部④について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 7

- ① 当初、尋常科の6年間は義務教育とされた。  
② 京都大学を帝国大学に改称した。  
③ 六・三・三・四制の単線型の学校体系が規定された。  
④ 小学校令、中学校令、師範学校令、帝国大学令より構成された。

問 6 下線部④に書かれている文章として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 8

- ① 智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ。  
 ② 一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ。  
 ③ 人タルモノ五倫ノ道ヲ正シクスヘキ事。  
 ④ 自今以後、一般ノ人民……必ス邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス。

問 7 下線部⑤に関連して、幕末から明治にかけての新聞について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 9

- ① 日本最初の日本語の日報『日新真事誌』は、外国人によって発刊された。  
 ② 明治期の新聞の普及の背景には、江戸期の版画の印刷技術の流れをくんだ木版印刷技術の発展があった。  
 ③ 幕末には、幕府の蕃書調所が、オランダの植民地バタヴィアの新聞を翻訳して刊行した。  
 ④ 大衆向けの娯楽や雑報を重視した、大新聞と呼ばれる新聞も人気を博した。

問 8 下線部①に関連して、日清修好条規の締結から日清戦争がはじまるまでにおきた次の①～⑥の出来事を、年代の古い順から並べたとき、4番目にあたるものを選べ。 10

- ① 防毅令事件    ② 済物浦条約の締結    ③ 甲申事変  
 ④ 甲午農民戦争    ⑤ 天津条約の締結    ⑥ 壬午軍乱

問 9 下線部⑧に関する二つの文X・Yの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④から1つ選べ。 11

X 日清講和条約には、清が朝鮮の独立を認めるという条項が含まれており、これによって中国を中心とする東アジアの冊封体制が崩壊することになった。

Y ロシア・フランス・ドイツ三国による遼東半島を清に返還すべきであるという勧告に対して、イギリスが介入し強く抗議したが、三国は勧告を撤回しなかったため、日本は勧告を受諾せざるをえなかった。

- ① X 正 Y 正    ② X 正 Y 誤  
 ③ X 誤 Y 正    ④ X 誤 Y 誤

問10 下線部⑨に関連して、日露戦争がはじまるまでにおきた次の①～⑥の出来事を、年代の古い順から並べたとき、4番目にあたるものを選べ。 12

- ① 北清事変    ② アメリカによる門戸開放宣言    ③ 日英同盟の締結  
 ④ ロシアによる旅順・大連の租借権の獲得    ⑤ 閔妃殺害事件  
 ⑥ 北京議定書の締結